

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 122	提案機関名 農政課
<b>要望問題名</b> 嫁入り・婿入り就農及び早期Uターン就農等の血縁・親戚関係を基盤とした円滑な経営継承の条件解明	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 昭和一桁世代のリタイヤが急速に進んでおり、担い手問題は深刻化している。国は、新規参入や企業参入に問題解決の活路を見出しているが、経営資源を丸ごと引き継ぐことができる家族農業経営の継承は参入に比べ有利な点が多い。家族農業経営の継承は、子弟の学卒就農やUターン就農、祖父―孫間による飛び越し継承、嫁入り・婿入り就農など、血縁・親戚関係を基盤とした世帯継承を前提としている。しかし、県内における各継承パターンの実態や円滑な継承方法については明らかでない。今後、早期Uターン就農の促進など、血縁・親戚関係を基盤とした継承を促進するためには、円滑な継承の条件やプロモーションをかけるべきターゲットの解明が必要である。 そこで、血縁・親戚関係を基盤とした継承の視点から、下記の解明を要望する。 (1) 県内における他出農家子弟がUターンする条件 他出農家子弟の所在や就業状況、Uターンニーズの有無、早期Uターンを促進する要因、など。 (2) 祖父―孫間による飛び越し継承が成立する条件 飛び越し継承が円滑にできる条件の解明、など。 (3) 嫁入り・婿入り就農、嫁取り・婿取りによる継承が成立する条件 嫁・婿の最適な探索方法・マッチング方法の検討、就農者側、受け入れ側、双方からの視点による円滑な経営継承の条件解明、農外からの嫁入り者の農業従事を促進する要因など	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	企画経営部
<b>対応区分</b>	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b>	(①、②、④の場合) かながわ農業の担い手を育成・確保するための調査研究 農業の担い手の構造変化と将来方向の分析		
<b>対応の内容等</b>	平成28年度から上記試験研究課題の中で、2015年農林業センサスの結果を用いて、地域農業の構造変化の把握及び分析を実施しています。今までの取組から、担い手については、比較的后継者（家族）が確保されている地域、他産業に就業している潜在的農業後継者（家族）の退職後の帰農に期待する地域、既存の担い手だけでは維持が難しい地域等、地域間に差があることが明らかになっています。今後は、さらに農林業センサスの個票を用いて、経営継承の状況について把握を行います。		
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>			